

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

# 教育いちかわ



**子どもの姿** 自分や他人を大切にし、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

**家庭・学校  
地域の姿** 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する

**市川の教育の姿** 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行  
市川市教育委員会  
〒272-0023  
市川市南八幡1-17-15  
TEL 334-1111

■企画編集  
市川市教育センター  
〒272-0015  
市川市鬼高1-1-4  
TEL 320-3335

## 教育行政運営方針の 着実な推進

去る2月の市議会において教育長が表明した、「平成26年度教育行政運営方針」の重要な施策の中から、今回は「小中一貫校の実現」「いじめ問題への対応強化」「校内塾・まなびくらぶ」の3点について紹介いたします。

### 塩浜からの新たな風 市川初！ 小中一貫校

#### ○塩浜小・中学校のこれまでの取り組み

塩浜小・中学校では、「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」の実現に向けて、小・中学校の連携を市内で先駆的に取り組んでいます。具体的な例としては、小中合同運動会・体育祭の開催や合同避難訓練、小学6年生の中学校生活体験などが挙げられます。

小中合同運動会・体育祭では、小・中学生がそれぞれの競技に参加し、係の仕事にも協力して取り組むなど、子どもたちの交流が積極的に行われています。防災教育でも連携を図っており、合同避難訓練では、それぞれの校舎への避難も実施しています。

また、学校教育目標と研究主題を共通なものとし、小中の教職員が連携しながら9年間を見越した教育活動に取り組んでいます。

このような教育活動のほか、学校評議員会やコミュニティサポート委員会といった家庭・学校・地域が話し合う場においても小・中学校が合同で運営をし、連携を深めてきました。



#### ○塩浜小中一貫校開校に向けて

これまでの取り組みを基盤として、現在、塩浜小中一貫校平成27年4月の開校に向けて準備を進めています。

具体的には、整備等に関する意見交換を目的として開催する「市川市塩浜小中一貫校検討委員会」や教育委員会内で開校に向けた必要な取り組みを検討し調整していく「塩浜小中一貫校開校準備委員会」を定期的に開催しています。

現在は、骨子となる塩浜小中一貫校に関する基本計画を策定中です。この基本計画につ

きましては、次号の教育いちかわで報告する予定です。

なお、塩浜小中一貫校の開校に向けた取り組みにつきましては、教育委員会のホームページに掲載しております。塩浜からの新たな風をぜひ感じてください。【教育政策課】

### 地域と共に いじめ防止

—学校支援実践講座—

学校支援実践講座は、いじめ問題への対応を強化するための取り組みの一つで、本市が千葉大学の協力を得て独自に開発したプログラムを学んだ受講者が地域支援者として実際に学校に赴き、いじめに関する子どもたちの話に耳を傾け、発言のサポートなどを行うものです。

本講座は2年目を迎え、「いじめの問題に関心があり、子どもたちと学校の力になりたい」という市民を対象に、今年度は年間5回の講座と学校へ赴いての交流会を計画しています。

昨年度の受講者と小中学校14学級による「いじめ未然防止」の交流会では、子どもたちは友人との意見交流から「気づき」を得るとともに、自身のこれまでの行動を振り返ることができ、新たな「行動への意欲」をもたらすものとなりました。

また、受講者の皆さんが、「いじめ」への強い思いを伝えたことで充実した交流となり、参加者からも「貴重で感動的な体験」という声が聞かれました。昨年度受講者39名のうち、31名が今年度の継続参加を希望していることなどから、生涯学習機会としての可能



性の大きさも感じとることができました。

このプログラムは、千葉大学教育学部 藤川教授が、「当事者にとっていじめという認識がない場合が多いことを前提に、リスク要因を挙げて減らしていく」という方針のもとに開発したもので、子どもたちの活発な発言を促すことで、いじめに対する子どもたちの意識を高めることが期待されます。

今年度は、小学校3年生から中学生を対象とした3つの新たな交流プログラムを整備し、61名の受講者とともにより多くの子どもたちとの交流を実施してまいります。

【生涯学習振興課】

### わかる喜び まなびくらぶ

「校内塾・まなびくらぶ」事業がスタートしました。

この事業は、市立小・中学校において、算数・数学を中心とした基礎的・基本的な内容を予習したり復習したりする機会を、放課後及び長期休業中等に設けるものです。

退職教員や、教員を志望する学生、地域支援者の方々などの「まなびサポーター」が、児童生徒の「わかった!」「おもしろい!」を引き出し、教室での授業や家庭学習に意欲を持って臨んでいけるように支援していきます。児童生徒の参加は、保護者からの申し込み制となっています。

開設時期や対象学年「まなびサポーター」の人材、活動時間は様々で各学校の実態に合わせた運営となっています。また、中学校では、上記以外に定期試験前に集中的に実施する場合もあります。

詳しくは、各学校からの案内をご確認ください。【指導課】



### 〈 視察にお越しいただきました 〉

6月4日(水)に、文部科学省文教施設企画部の皆様に視察にお越しいただきました。視察では、小中一貫校化に向けて準備中の塩浜小中学校、複合型施設である中央図書館、第七中学校を御覧いただきました。

視察を終えて文部科学省の担当者からは「これからの施設整備に関する課題への対応を行っていく上で、大いに参考になりました」との感想をいただきました。



# やっぱり大切・・・食後の歯磨き！

## むし歯予防大会

6月4日(水)に生涯学習センターにおいて、「第40回市川市むし歯予防大会」が開催されました。

市内小・中・特別支援学校で、健歯(むし歯がなく歯並びも良い)代表に選ばれた児童生徒の審査会が開かれ、審査の結果、入賞者が決まりました。

当日は、歯科衛生作品(図画・ポスター・作文)入賞者の表彰も行われ、賞状と記念品が贈られました。

また、表彰式の前に、市川市歯科医師会の学校歯科医の先生から、「歯ぐきを丈夫にし、歯周病にならないようにすることが、将来、歯を守っていく上で大切です」とのお話がありました。

表彰式では、市川市歯科医師会長谷川会長及び市川医師会吉岡会長より、「一流のスポーツ選手も競技するために歯を大切にしている」「口の中を管理するのは自分自身であり、歯磨きをしっかり行い、歯をしっかりと守ってもらいたい」「一生、自分の歯で物が食べられるように、歯を大切にしてほしい」とのお話がありました。

これからも、食事後の歯磨きをしっかり行い、口の中をきれいに保つようにして、むし歯にならないようしましょう。

【保健体育課】



歯を大切にしよう！口の中をきれいに保つようにして、むし歯にならないようしましょう。

# 平成26年度 受賞者一覧

健歯児童小学校6年の部				健歯生徒中学3年生の部			
男子	優秀賞	行徳小学校	6年 高橋 由有	男子	優秀賞	第四中学校	3年 服部 耀太郎
	"	鶴指小学校	6年 五十公野海渡	男子	"	第六中学校	3年 橋川 莞
	"	新浜小学校	6年 荒河 実稀也	男子	"	南行徳中学校	3年 剣持 遼太
女子	優秀賞	鶴指小学校	6年 鈴木 柚寿葉	女子	優秀賞	第二中学校	3年 西村 萌花
	"	大野小学校	6年 北林 遥香	女子	"	福栄中学校	3年 仁田原 由実
	"	塩焼小学校	6年 岡崎 由希	女子	"	大洲中学校	3年 内堀 瑞穂
図画の部				ポスターの部			
	優秀	北方小学校	1年 大熊 瑠里		優秀	菅野小学校	4年 猿田 智也
	優良	鶴指小学校	2年 若山 はな		優良	菅野小学校	5年 渡辺 瞳
	優良	北方小学校	3年 林 佳那		優良	鶴指小学校	6年 中島 千咲葵
	佳作	国分小学校	3年 武川 璃名		佳作	市川小学校	4年 田口 聖
	佳作	若宮小学校	2年 林 真守		佳作	若宮小学校	4年 中川 紗良
	佳作	柏井小学校	3年 柳沼 美貴		佳作	菅野小学校	6年 齋藤 優羽
	佳作	須和田の丘支援学校	2年 山崎 和奏		佳作	須和田の丘支援学校	4年 緒方 啓悟
	佳作	須和田の丘支援学校	2年 赤津 凜		佳作	須和田の丘支援学校	4年 武川 彩愛
	佳作	須和田の丘支援学校	2年 畠中 健豪		佳作	須和田の丘支援学校	5年 海勢頭 誠
	佳作	須和田の丘支援学校	2年 大久保 果音		佳作	須和田の丘支援学校	6年 吉野 世那
	佳作	須和田の丘支援学校	2年 水流 史弥		佳作	須和田の丘支援学校	6年 原嶋 太一
	佳作	須和田の丘支援学校	2年 斎藤 由希		佳作	須和田の丘支援学校	6年 木下 将矢
	佳作	須和田の丘支援学校	2年 桂下 洵太				
作文の部							
	優秀	北方小学校	6年 西口 恭可		佳作	若宮小学校	6年 夏見 莉央
	優良	市川小学校	6年 岩澤 鈴果		佳作	北方小学校	5年 三宅 夏楠
	優良	北方小学校	6年 岩谷 幸佳		佳作	須和田の丘支援学校	6年 玉城 智也
	佳作	若宮小学校	6年 遠藤 幸芽				



3月6日(木)に平成25年度市川市児童・生徒学習賞の追加表彰式が行われました。

今回の表彰(最高学年のみ対象)では、2名の個人、2つの団体の表彰式が行われました。おめでとうございます。【指導課】



活躍の成果

学習賞

- 〇市川市立塩焼小学校 中村麻衣さん 長谷部瑠奈さん 「第11回新聞切り抜き作品コンクール」小学校の部 優秀賞
- 〇市川市立塩焼小学校 6年1組 「第63回全国小・中学校・PTA新聞コンクール」小学校学級新聞の部 毎日小学生新聞賞
- 〇市川市立新浜小学校 吹奏楽部 クラリネット四重奏 「第19回東関東アンサンブルコンテスト」小学校部門 金賞

# 中山小が 文部科学大臣表彰を受賞

市川市立中山小学校が、平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において、創意工夫成功労学校賞を受賞しました。

これは、小中学生の科学技術に関する創意工夫の育成に顕著な成果を収めた学校を表彰するもので、中山小学校が長年にわたり取り組んできた、全校対象の夏休み自由研究の推進、学習(論文)発表会の開催、職員の創意工夫が評価されたものです。



藤間博之校長

今年度は千葉県から小学校1校、中学校1校が受賞。中山小学校は平成18年度に続いて2度目の受賞になります。

おめでとうございます。【教育センター】



# 心のつながいを大切にする『人に支えられ、親として成長していく』家庭教育(連載①)

今年度も家庭教育指導員として、親が子育てをしていく上でのアドバイスなどを、「教育いちかわ」に掲載させていただき、親力アップを図っていきたくて考えていますので、よろしく願い申し上げます。

子育て中の親にお願いしたいことは、一人で子育てをしないで欲しいということです。

分からないこと、悩んでいること、知りたいことなどがあつたら、遠慮せずに周囲の人に相談してください。親は最初から親であるわけではありません。お子さまを出産してから現在の年月しか親を経験していません。

その間に、子どもとやりとりをし、周囲の人からアドバイスを受け、いろいろなことを教わり・学び、段階を経ながら親として成長していきます。

子育て仲間が集い、友だちになりながら、子育ての楽しさや悩みを共有し合い、子育てを通して自ら学び成長していけるような場が必要です。

それが、各学校・園において主体的、且つ活発に行なわれているのが家庭教育学級です。

ぜひ、今からでもそれぞれの家庭教育学級に参加して楽しく学び、会員同士が積極的に親睦を図って欲しいと考えています。千葉県や市川市でもその啓発と支援を図るため、子育てに関する支援事業を続々とスタートさせていますので、ご覧ください。

## 千葉県・市川市の家庭教育や子育て応援サイト

- ・「親力アップ いきいき広場」  
www.kplaza.pref.chiba.lg.jp/emanabi/
- ・市川市「子育てナビ」：平成26年4月新設子育て支援課  
www.city.ichikawa.lg.jp/chi01/1111000105.html
- ・市川市「いちかわっこWEB」：市川の子育てを応援  
http://ichikawa.ikuji365.net/



【生涯学習振興課/家庭教育指導員】



# 大切な命を守るために

## 普通救命講習会



平成26年度の市内小・中・特別支援学校教職員を対象にした普通救命講習会が、4月28日(月)に、市川市立平田小学校からスタートしました。

この講習会は、市立の小・中・特別支援学校を2つのグループに分け、学校ごとに2年に1度の割合で行っています。指導は、市川市消防局救急課の指導員にお願いし、学校生活の様々な場面において児童生徒に危険がおよぶ事態が発生した時に、救急隊員や医師に引き継ぐまでの間、悪化防止及び救命のためのスキルを習得・向上させ、「安心・安全な学校づくり」を推進することを目的としています。



講習は、4~5人のグループに指導員1名の形で行い、胸骨圧迫・人工呼吸・AEDの使用法と進み、最後に「効果の測定」が行われ

ます。また、受講している教職員から、学校の中で起こることが想定される様々な事故への対応についての質問に対しても、指導員から、これまでの現場での経験をもとにした適切な処置を指導していただくことができます。



学校では、この研修で身につけたスキルが役立つような状況が発生しないことが一番ですが、万が一の時に、「最愛の子どもたちを救うことができる」ように、教職員たちは一生懸命研修に励んでいます。

指導員の方のお話によると、いざという時にすばやく対応するためには、定期的に手順や注意事項を確認しておくことが大切だそうです。【保健体育課】

「市川市新規採用教職員等研修会」は、昨年度及び今年度幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校や教育委員会で採用された教員や事務職員などを対象に、今年度も3回実施されます。

この研修会は、教育委員会の基本理念や各種事業、公務員としての心構え等についての理解を深めさせるとともに、それぞれの職務に課せられた責任をしっかりと認識させることをねらいとしています。

第1回目の研修会が、6月5日(木)に、2年目教職員を対象として行われました。研修会は、勤務した1年間を振り返る機会として、異校種ごとの小グループに教育委員が加わり、テーマ別に活発な意見交換が行われ、学習指導や生徒指導、保護者との連携について今悩んでいることや成功したこと、現在取り組んでいることなどが報告されました。「一人の児童生徒を学級担任だけでなく、学年全体、学校全体の教職員で温かく見守り指導することで、子どもの様々な面が見えてきて指導の可能性が広がった」「一人の影響がクラスみんなに広がるので、生徒の良いところを見つけ、誉めるように心がけてきた」「人の話を聞く態度を育てるために、1年間指導を徹底して継続してきた」など、1年間の成長を感じさせるような発言が多く聞かれました。



また、参加した教育委員の方々、教育委員会の各部長からは、励ましの言葉や、現場で活用できる具体的なアドバイスをいただきました。

今回研修に参加された一人一人が、教育への情熱を胸にさらに研鑽を積み、「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」を具現できる人材に成長されることを切に願っています。

【指導課】

## 教育次長に 石田有記 氏



4月1日(火)、教育委員会教育次長に、石田有記(いしだゆうき)氏が就任しました。

石田有記氏は、文部科学省初等中等教育局で、教育課程、教員研修、教育財政に係る仕事に取り組んでいました。【教育センター】

幼稚園・学校を支えていく若き力

## 命の尊重・思いやり・喜びを「生きる力」へ

5月9日(金)市川市文化会館大ホールにて「こころの劇場」が行われました。

「こころの劇場」は劇団四季が「演劇を通じて芸術文化に関心を持ち、子どもたちの心に、『生命の大切さ』『人を思いやる心』『信じ合う喜び』など、人が生きていく上で最も大切なものを、舞台を通じて語りかける」という趣旨のもと、全国の子どもたちを劇場に招待し、無料公演を行っているものです。例年、市川市では、6年生を対象に実施しています。

今年度は、午前・午後の二回公演でも文化会館に入りきらない程の申し込みがあったため、抽選により決定した35校が観劇しました。今年の演目は、ケストナー原作の名作「ふたりのロッテ」のミュージカルで、歌あり踊りありの素晴らしいステージでした。

～ こどもの感想 ～

- ★ ミュージカルが期待していた以上におもしろかったです。気持ちを表すのはとても難しいはずなのに、それを見事に観客に伝えているので、おどろきました。
- ★ ソプラノとアルトがきれいなハーモニーになっていました。
- ★ 物語と音楽を組み合わせることで、どちらも楽しめました。

多くの子どもたちが、二人の主人公の生き生きとした演技に大きな拍手を送っていました。【指導課】



## 市川市立小・中・特別支援学校のオープンスクール

自校の教育活動を保護者だけでなく、地域で暮らす皆様にも見ていただけるよう開催しています。詳細につきましては、各学校にお問い合わせをお願いいたします。各学校の日程につきましては市川市のWebサイトに掲載しています。【義務教育課】

市川市ホームページ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/index.html>

⇒ 教育委員会

⇒ オープンスクールデー(学校公開日)

⇒ 開催日程 小学校1 小学校2 中学校





# 夏休み自由研究

考古・歴史博物館では、夏休み期間に「夏休み自由研究お助け月間」として様々な行事を行います。昨年好評の企画にくわえ、今年も新企画も実施いたします！

普段は見るできない博物館の資料などを保存しておく収蔵庫などの裏側も見られる「博物館探検ツアー」の他、「宿題相談会」も実施します。行徳の塩作り、戦時中の市川の暮らし、昔の道具、学区の歴史など、市川の歴史に関する質問に学芸員が答えたり、調べ学習をする上での参考資料の紹介をしたりします。

## <歴史地図作り>

学芸員と市内の史跡を巡り、まとめとして地図づくりの指導をします。  
日時：7月30日(水) 行徳周辺、8月27日(水) 真間周辺  
対象：小学校3年生以上(保護者同伴可) 人数：それぞれ20名

## <昔の暮らし体験>

たらいや炭火アイロンを使った洗濯や、竹を使った水鉄砲づくりをします。  
日時：8月9日(土)(昔の洗濯体験)  
8月17日(日)(竹の水鉄砲作り)  
対象：小学生以上(保護者同伴可) 人数：それぞれ10組



# お助け月間



## <博物館探検ツアー>

日時：8月2日(土)、8月23日(土)  
対象：小学校3年生以上(保護者同伴可) 人数：それぞれ10組  
※以上3つの申し込みは、歴史博物館へ電話(047-373-6351)または、歴史博物館窓口で受け付けています。持ち物などにつきましては、申し込み時にお伝えします。

## <火をおこそう>

縄文から現代までの火おこしを体験します。  
日時：8月16日(土)  
対象：小学生以上(保護者同伴可) 人数：20組  
申込：考古博物館へ往復はがき ※詳細は「広報いちかわ」7/19号 参照

## <夏休み宿題相談会>

日時：8月20日(水)～24日(日)  
対象：小学校3年生以上 申込不要(直接歴史博物館へ)

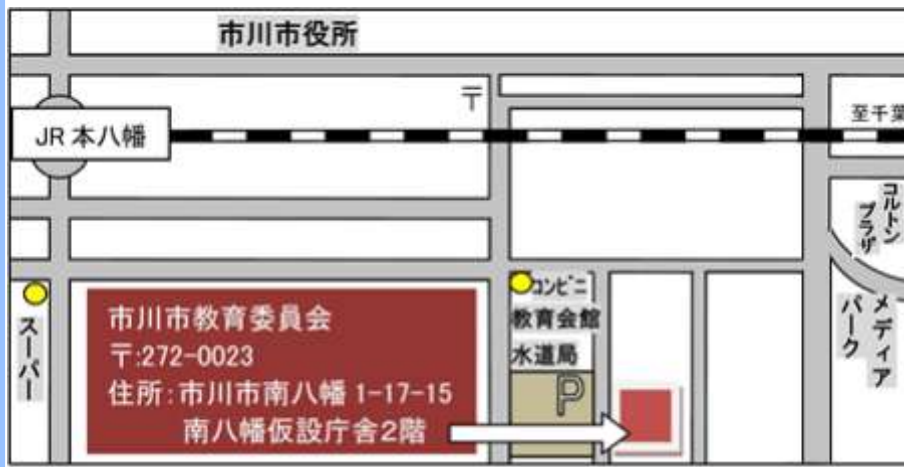
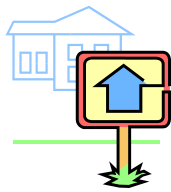
充実した夏休みの学習に、ぜひ市川考古・歴史博物館をご活用ください。みなさまのおこしをお待ちしています。

【考古・歴史博物館】

## 教育委員会 移転のお知らせ

市川市教育委員会事務局は市川市役所の建て替えに伴い、5月7日(水)より下記の執務室を南八幡仮設庁舎2階に移転しました。

- 教育総務部
  - 教育政策課・就学支援課・教育施設課
- 学校教育部
  - 義務教育課・指導課・保健体育課
- 生涯学習部
  - 生涯学習振興課・青少年育成課・社会教育課



## 小・中・特別支援学校の講師募集!

市川市教育委員会では、市内の公立小学校・中学校・特別支援学校に勤務できる講師等を随時募集しています。

### 1 募集職種

- (1) 臨時的任用講師
  - 欠員の場合や産前産後休暇等の代替として勤務する常勤の講師
- (2) 非常勤講師
  - 定められた教科の授業を行う非常勤(週10～29時間)の講師
- (3) 補助教員
  - 担任の補助として定められた教科の指導をサポートしたり、特別支援学級等の補助をしたりする週35時間の補助教員

### 2 応募資格

- (1) 希望校種または担当教科の教員免許状を所有する方(取得見込の方も含む)
- (2) 地方公務員法第16条の欠格事項及び学校教育法第9条の欠格事項に該当しない方
- (3) 教職に必要な見識と熱意を持った、心身ともに健康な方

### 3 必要書類

- (1) 履歴書(市販のもの・3ヶ月以内に撮影した写真を貼付)
- (2) 教員免許状の写し

### 4 応募方法

- \* 義務教育課・教職員班へ電話でご連絡下さい。
  - 講師登録(面接)の日程を調整します。
- \* 必要書類を持参していただき面接をさせていただきます。
  - 登録となります。

\* 採用につきましては、欠員が生じた場合に登録者の中から再度面接し決定します。登録後、すぐに採用されるものではありません。

### 5 その他

\* 現在、保健体育免許状・小学校免許状をお持ちの方を急募しています。



■市川市役所 南八幡仮設庁舎2階  
市川市教育委員会 義務教育課  
教職員班 Tel 383-9261(直通)

【義務教育課】

## ～子どもにかかわる相談は、ここでできます～

・少年相談(少年センター) 対象:小学1年生～20歳未満  
家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談  
TEL320-3340 月～金(9:00～17:00 ※木のみ19:00)  
eメール相談 youngnet@city.ichikawa.chiba.jp

・教育相談(教育センター) 対象:3歳～中学3年生  
子育てや教育に関する様々な悩みについての面接相談  
TEL320-3336 火～土(9:00～17:00)

・ほっとホッと訪問相談(教育センター) 対象:小学1年生～中学3年生  
主に不登校についての電話・訪問相談  
TEL320-3362 火～金(12:30～17:00)

